5861
2144
no.3

大正十年四月十三日印刷
大正十年四月十七日發行（毎月一回）第一巻 第三冊

CAHIERS IDEALISTES DES JEUNES

種蒔く人

自分は農夫のなかの農夫だ。
自分の綱領は勞働である。
——ミレー——

第三冊

BERKELEY
LIBRARY
UNIVERSITY OF
CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第三インターナショナルへの鬪爭

偶然讀んだ最近の某新聞の第一頁は、伊太利金屬工業その他の工業の管理權に對する勞働者對資本家の交涉の進行、プラーグの社會主義紙が共產主義者の勢力下に移つた事、ラトヴィア議會を通過した農業改良法案、ミルランの大統領候補拒絕五人の社會主義者がニューヨーク洲會から放逐された事、英國炭鑛夫の最近の宣言、ベルリンに於ける共產主義者の捕縛、エンヴェル・パツシヤとソヴィエットの陰謀との假想的關係、リガに於ける露波媾和談判等の記事を以てほゞ半分占められてゐた。こんな記事が重要視されてゐるのは獨り此日の此新聞だけでは決してない。

この種の問題に對して二つの謬想がある。その一は、此等諸問題に共通した重要な要素がないと云ふ見界である。然し、どんな粗雜な硏究でも、表面上少しの關係もなさゝうな此等諸問題の中に世界の社會主義運動の動搖が現はれてゐる。赤衞軍の浸畧によつて直接脅かされる人々の間にある今一つの謬想はこの赤衞軍が凡て結合してゐると云ふ事である。然し社會主義の左右兩翼即ち第二インターナショナルと第三インターナショナルの激しい鬪爭は、實に資本主義對社會主義の鬪爭にそのまゝ比較され得る事は現今最も顯著な事實である。そして左右何れにも屬してゐない社會主義の中央派の間の鬪爭程白熱的な爭は他に見る事が出來ない。

第二インターナショナルの本據ロンドンから戰が宣せられた。

世界の勞働者よ……輕跳な人々は諸君の結合を徹塵に破壞して居る。勞働者よ、分裂せよ！と云ふのがその叫びだ。これが諸君の間に疑惑を齎し、相互の間に有害な對立の種を蒔きつゝあるのだ。全世界を通じて第二インターナショナルは民主的社會主義の理想の爲め一方に於て資本主義の奴隷制度と戰ひ他方に於てボルシェヴィズムの專制的獨裁政治と戰ひつゝあるのだ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會主義の爲めの最後の戰はロシアに於て決定さるべきものではなく資本主義の最も發達し力强い所に於て決定さるべきものであらう。故に八月ジェネバに開催した第二インターナショナル大會は英國の勞働階級を以てそのチャムピオンとした。第二インターナショナルは勞働階級の世界的結合を復活せんとする凡ゆる努力には喜んで協力する。しかしこの結合を破壞せんとする凡ての企圖に反對する。

第二インターナショナルは約千四百萬の社會主義者及勞働組合員を代表し七百萬の會員を有する英國勞働黨及勞働組合がその中堅を形づくつてゐる。

第三インターナショナルの本據モスコーからも數度の宣言が出た。彼等は第二インターナショナルの人々をブルジョアの忠實な助言者、勞働階級の絞殺者と云つてゐる。

曰く。

議會政策の腐敗した空氣に沒頭し、卑しい秘密の取引に立て會ひ、僅かな讓歩と妥協の爲め勞働組合の交渉を指導し、遂に第二インターナショナルの首領連は多數の不熟練勞働者や苦役の貧乏人との接觸を失つてしまつた。しかも彼等自身の不變な安全な物質的社會的地位は向上した。彼等は平和な中産階級の色眼鏡を以て世界を見てゐるのだ。それで世界の勞働者よ結合せよ！と云ふ合言葉はこの戰時中各國の勞働者よ！祖國防護の爲め殺し合へ！に代はらねばならないとプロレタリアに宣言する。更に『戰爭の爲めに全力を緊張させ最後の一息まで資本主義の爲に戰ふ事を勸めてる。

この宣言が單なる机上の戰でなかつた事はボルシエヴイキがメンシエヴィキと戰ひ獨逸に於てはネパルタカスが手投彈や機關銃その外澤山の武器をもつた多數社會黨の支配權力と戰つた事によつても知られる。第二インターナショナルに對する反抗と攻撃の發生地は勿論ボルシエヴイキである潮は非常な勢で最近二年の間に第二から第三に流れて行つてゐる。第三インターナショナルに大膽に進み入つた最初の重要な團体はイタリーの社會

東167803

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

黨である。一九一九年三月に加盟した團体はノールウエーの勞働黨、ブルガリアの小社會民主黨、スエーデンの左翼社會黨、ハンガリーの共產黨及社會民主黨、スペインの勞働總同盟その他である最近に於ては獨逸獨立社會黨の多數が加入しフランス社會黨も正に之に次がんとしてゐる。(註ツウール大會で佛國社會黨は第三インターナショナルに加盟した）

公然第三インターナショナル加盟を決議した各國の社會主義者及勞働者の團体は二十五以上にも達した。

第三インターナショナルは常に社會主義運動分裂に於ての攻擊者である。彼等は漸進的社會主義者を以てマルクス・エンゲルス從つて社會主義及勞働階級の裏切り者として批難する。

マルクス・エンゲルスが資本主義社會を分拆して資本と勞働との間には調和する事の出來ない爭鬪の存在し只僅かに勞働階級が資本階級を覆滅せしむる事によつて初めてその爭鬪が終局すべきものなる事を指摘してから以後この七十三年の間その批評の眞理をかくし、それの養つた革命力を弱めた唯一の要素は、漸進的社會主義である。獨逸に於て一度ブルジョア國家に勢力を築くや否やその指導者達は社會主義の革命的眞理はブルジョアとの關係に於て彼等を苦しむるものなる事を知つた。彼等は自らその顧問をしてゐるブルジョア國家の安定に利益を感ずる樣になつた。この大戰爭が勃發するや彼等は非常な權力を得て全くカイゼルの道具になつてしまつた。獨逸に於て資本家的軍國主義が勢を失ひ勞働者が革命に猛進した時漸進的社會主義者は方向を轉じてブルジョアの地位を擁護した。革命的プロレタリアが革命の結果の欺瞞されたのを見資本家の反動に對して戰を始めた時彼等漸進的社會主義者は機關銃の銃口を轉じて勞働者に向けた。眞の革命の時は來た！避けられなければ烈しい內亂によつても。資本家國家は顚覆し、プロレタリアの獨裁政治が行はれ、ブルジョアの議會制度に代つて勞働者の委員制度即ちソヴィエットが社會の基礎となるに相違ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

これに對して第二の辯護者は答へる。資本家生産は工場である。いかにもそれはよくないものだ、然し全く何もないよりはましだ、勞働者は工場の活動に依つてゐるものだ。吾々は工場の生産力を破壞せずに徐ろにそれを改造せんとするものだ。所謂革命主義者なる諸君は諸君の暴力革命の綱領を維持せんが爲め常に勞働者の經濟的窮乏を當然であると論じてゐる。諸君のなさんとするのはダイナマイトを以て工場を爆破しその跡に諸君の空想的工場の空想的計畫に基いて何物かを建てんとするのだ。然らば勞働者は一体どうなるのだ。彼等は爆發の災を蒙り暴力と窮乏と飢餓に苦しみその生産力と職とを失ひ…………。吾々は敎育とデモクラシーの秩序あり効果ある方法によりプロパガンダ及運動を行ひ諸君の暴力と地下陰謀と共に消え失せた道德力を獲るのだ。デモクラシーに對する熱愛は分離する事の出來ない程社會主義と融合してゐる長い習慣だ。それを實行すべき吾々の順番が來た。諸君の「プロレタリアの獨裁政治」が多數意志の尊重であればそれは吾々の云ふ「デモクラシー」である。然しロシアの實狀を見ればプロレタリアを潜稱する一團の人々の獨裁政治即ちブルジョアと同時に勞働者に對する獨裁政治である。

第二と第三の間に所謂中央派なるものがある、彼等は第二にも第三にも加盟しない、數週間前までこの派の中堅と目されてゐたのは獨逸の獨立社會黨、英の獨立勞働黨、米の社會黨及佛、西、瑞西、墺の社會黨その他であつた。中央派は兩極端の何處かに眞理を求めんとする、而して彼等が判斷と行爲の自由を得てゐるが故に左翼は彼等を疑ひの目を以て見、右翼は彼れに秋波を送つてゐる第三は攻撃して云ふ。

吾々は第二の立ち場を知つてゐる。彼等は吾々の敵である。この重大な時機に當つて吾々は中央派の立脚地を知らない。第二に行くべき者は行き、吾々に來るべきものは率直に吾々に來るべきである。かくして戰線は明瞭になるだらう。中央派の加入申請を審査する爲め第三は廿一箇條

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の條件を定め、加入希望者に課した。この條件は實際中央派の陣營に爆彈を投じたものである。

獨逸の獨立社會黨から第三インターナショナルは一般社會主義者及勞働者に何を約束するかを研究する爲にロシアに派遣された委員の歸來後數週間は賛否の論國內を通じて行はれた。大會が十一月召集され、第三の執行委員長ジノヴィエフ及メンシェヴィキのマルトフはロシアから來て、各自の立ち場を辯護した。中央派結合の目的を以てフランスからはロンゲが來た、そして、この廿一箇條はロシア以外の國では實行不可能だと云ふので反對した。盛なる討議の結果第三加入の爲め廿一箇條承認の動議は多數を以て通過した。かくして戰時戰後を通じて堅く結束してゐた獨立社會黨は分裂した。左翼は約四十パーセントの會員を以て獨立社會黨を名乘り左翼は獨逸の他の共產黨と合併して獨逸共產黨と稱するにいたつた。フランス社會黨も恐らく同じ運命に逢着するだらう。

アメリカに於ては廿一條件の發表前社會黨は條件付を以て第三加盟の決議をした、然し發表後反對の評明をした。而して共產主義者を公言したものは自ら脫黨し若しくは除名された。新しい中央派がスイス社會黨の肝入で十二月ベルンで會議した。英國の獨立勞働黨、獨逸右翼獨立社會黨、佛社會黨小數派その他が代表者を送つた。新しい中央派が又新しい分裂の運命に逢ふのか、或は社會主義運動の重心となるのかは容易に豫測し得ない。

（ネーションより抄譯載）

（二・一三日金中生）

私だけのこと

今野賢三

冷たい二月の空は、みがゝれたやうに晴れてゐた。雪をかぶつた山の頂上は、寂しく陽を照りかへしてゐた。左手の田圃が白々と見渡されて、青森行の車中に在る私の眼から、うしろへ〳〵と流れて行つた。

中央文學の二月號ロマン・ロオランの印象を讀みふけつてゐるうち

『氏は露西亞に於ける人類上の不幸を想ふてゐるのである。確り眼を空間の一方に据ゑて、時々憫笑するやうに、ふん〳〵、と云ふ聲を交へながら恰も獨白する如く語を續けた。その語るところは多く革命とそれに伴ふ民衆の苦痛並に外國の壓迫とであつた。終に昂奮した氏は齒がみしながら大きな拳を握て叫んだ』までくると、言ひやうのない感激に襲はれて、私の眼に、涙の滲んでくるのを覺ゑた。

私は、他の乘客に、顏をかくさうとしたが『恥べきぢやない』といふ氣持になつて、偉狀な感激にひたつてゐた。私の眼にはロマン・ロオランの風貌がまざ〳〵と見ゑるのであつた。

『その有樣は前に人がゐるのを知らないかの如くであつた。氏は話が露西亞のことになると常に懊惱座に堪へられなくなるのである』――懊惱座に堪へられない――此の心持は、私共でさへ、經驗することなのに、民衆の生活を自分の生活として懊惱する偉大なロオランが、どんなにはげしく懊惱そのもの丶ために自分自身を苛むことか、そしてそこから發露する思想藝術の偉大さが、ほとんど自分の生命を捧げたいくらゐの渴仰を持つて考へられるのであつた。私はロオランの作品を、少しも讀んでゐないのであるが、車中に在る幾時かは否永久に、ロマン・ロオランは私の精神に潑溂と生きたことを感じた。

私は暫くぶりで汽車に乘つたことを、感謝しないではゐられなかつたのである。

斯うしたロオランの懊惱を、人類的な愛とも言ひるだらうし、また、人道的精神とも云ひるだらうが、つまりは、いゝ人格のあらはれにほかならない必然的な人格のあらはれにほかならない。

私は、强烈な憤懣を現代に抱いてはゐる。殆ど絕望させるくらゐまで惰落した、虛僞が確實な道德となつてゐる現代そのものに、自分を叩きつけて、戰はずにゐられないのではあるが、世の中の底から表面へ飛出すまで、必然さが確實な根底に立つてゐない、自分を恥なければならない。それは私の思想がぐらついてゐる爲めで、一面に於て徹底してゐながら、一面に於て懷疑に囚はれてゐ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る爲めである。懷疑は增々、復雜に、深刻になつて來てゐることを感ずる。

私は最つと冷靜に自分を凝視する必要を思ふ。自分の思想的經路を、最う一度掌にのせてながめる必要を思ふ。そして自分をより確實なものにしなければ耐へられない氣持さへする。そのために、一切から離れて二三年思索をつゞけて見たいと、切實に考へられる。さうしたならば、自分は、恰もロマン・ロオランのやうに、人格の必然的なあらはれに到着することが出來るやうに思はれるのだ。

私はかうした、わづかな印象記を讀んでさへ、ロマン・ロオランの、腰のどつしりとたちついてゐることを感ずる。だから、自分の浮き腰であることが、かうしたものを讀むことに依つて、すぐに、ハッキリ判るのである。

『人生とは何ぞや？』此の疑問は、十七八から私を苦めた。そして、永い思索の結果、一つの『自分だけの思想』が出來あがつた。私は、自分の思想と實行を一致させるために、異端者の生活をつゞけて來た。或る時は、安價な人道主義者に見られた。私自身は、一度も、人道主義者だと思つたことはなかつた。少年時代から、貧乏の痛苦をなめ、逆境を泳いで來たために、他人に對して直に洞察がはたらく爲めに、虐げられたものや、弱いものに對して、愛を感じずにゐられなかつたのだ。私には立派に、エゴイストな一面がある。

最初、私は利巳に眼覺めた。そして還境に沒入する、利巳の徹底境まで進んだ。が、私が最も強烈な利巳主義者であつたればこそ、還境と妥協しなかつた。火花を散らして反撥した。或は、現在も利巳主義者といふ、名目にふさわしいものであるかも知れない。さうであるならば、自分は利巳主義者で徹底してゐることを信ずる。何故なれば、私は理想を叫ぶから。理想を現實にしようとしてゐるからである。が、私はまだつまづいてゐる。ロマン・ロオランの懊惱を、感ずることが出來ても、必然的に体現してゐないのだ。感じてゐることは体現してゐることではない。体現することは、實行のあらはれをも含んでゐなければならないの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だ。しかし、現在の私の實行は、より勇氣を振ひ起して、懐疑を堀りさげることであらねばならぬ。そして、ゆるぎのない私を築かなければならない。

二、二一日

鳥屋と兵隊

小牧

鳥ヤコのおやぢは　また鳥をねぢつてゐる
鳥は怒り切つて　腥い聲をあげた
冬の日が　ぬつたり
血の氣のない　まな板を照した
肉切り庖丁は　つよいあぶらで
ぎとぎとしてゐる

鳥ヤコのおやぢは　平氣で
生物を前にして　肉を切つてゐる
冬の日は　またぬつたり地上を照した
二尺四方の金網で　鵞鳥は
愚かな聲で　ないて見た
それが欠伸して　死を待つてゐるやうにも
見ゐる

顔中マスクの　兵隊が
足並揃へて　やつて來たが
い丶對照だ

〔二、一、三一〕

自我主義者の手帳から

アナーキストの立場　XYZ

我は我だ、他は他だ。我は我以外の何者でもない。萬法、我の爲めに存在すると同時に、また我の爲めに無だ。利害の爲めに一致すると云ひ、階級の爲めに戰ふと云ふが、それなら、利害が相違して來た時、その仲間の人達はどうすればい丶のか？一の階級が他の階級を征服し得た時、その人達は今度は何をすればい丶のか？

恐らく彼等は云ふであらう。『鐵鎖は碎かれた、自分達は解放された。さあこれから新しい世界を創造しやう』と。さうして今度は彼等自身が鎖となつて、他の人達を束縛するのだ。彼等は資本家階級を倒すことを目的として鬪ひを始めた。そして首尾よく、それに成効した。然しそれと同時に彼等は第二の資本階級（征服階級）を形成することゝなつた。恁うして人類を束縛する鐵鎖は永久

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に碎け散ることがない。

何故、恁んな結果が起つて來るのか？それは階級の利害と云ふ觀念の中に、既にある種の間違つた思想が孕まれてゐるからだ。間違つた思想とは、奴隷根性のことだ。奴隷根性が一轉した時資本家根性となり、資本家根性が抑壓せられた時奴隷根性となる。世間、多くの社會運動のリーダー達が、何かと云ふと直ぐ御說敎をしたがるのを見よ。また勞働運動の實行者達が、事毎に偶像を擔ぎ出したがる心理を見よ。悉く救はれ難き性格の破產者だ。

『萬國の勞働者よ、結合せよ』と云つたマルクスの語に、僕はティピカルリーダーとしての姿を見る。マルクスは一の階級の鐵鎖を碎かんが爲めに、更に新しい鐵鎖をこの世界に造り出した人間だ。マルキシズムの根本の誤謬は、彼が組織の上では生產機關の共有を說きながら、代議政治と賃銀制度とを認めた所にある。然し更に根本的に思想に入つて行くと、彼の心理に誤りがあつたことを發見する。彼は勞働階級の味方の一人ではあつても、遂に勞働階級そのもの、一人ではなかつた。頭で御說敎することは出來ても、勞働者その者と感情を同じくし呼吸を等しくする事は出來なかつた。彼の心理は畢竟勞働者の敎師に過ぎない。マルクスの敎師氣質とその當時の勞働者の生徒氣質とが一つになつて、マルキシズムの運動が起つた。敎師氣質と生徒氣質、換言すれば征服心理（資本家心理）と被征服心理（奴隷心理）だ。

僕達はまづ何よりも、この新しいマルクスの鐵鎖を棄てなければならない。マルクスの心理と同じ心理を棄てなければならない。

×

我は我である。我以外の何者でもない。この單純な思想こそ、アナーキーの根本哲學だ。自分達の身体に纒ひ着いてゐる總ての鐵鎖（權威）を斷ち切ることに鬪ふのが、アナーキストの鬪ひだ。そして、この性格的の一致に依つて結合するのが、眞實のアナーキスト・リトグだ。僕等は最早、萬人勞働の義務と云ふやうな語で愚にされてはゐられない。生存の權利と云ふやうなセンチメンタリ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ズムで甘やかされてはゐられない。實に僕等が要求する勞働は、自由なる愉快なる勞働でなければならぬ。さうして、その報酬としては安樂であることを要求するのでなければならぬ。僕等の手に依つて今後創造される世界は、この二個の要求を滿して尚ほ餘りあるものでなければならぬのだ。

この事は決して『夢のやうな世界』の創造ではない。思想的には、各自が自らの『我』に覺醒した時に、社會組織の上にはこの地上から總ての權力が一掃し盡された時に、この自由合意の生活は人類の間に生れ出る。それは容易だ。今、直ぐだ。『我』が完全に『我』そのものとなり得た時には、總ての權力はこの『我』の前に泡沫のやうに消失する。

を否認し、賃銀制度を廢し得ない限りは、如何に生産機關の共有を實行しても、それは資本家と云ふ多くの人間の代りに、今度は國家と云ふ一個の團體を置き換ゐたに過ぎない。人類を束縛する鎖は永久に解かれることはない。代議政治と賃銀制度に手を觸れないで行ふ解放運動は眞の解放運動ではない。それはある階級と階級との爭鬪であつて、何れにしても人類の上に置かれた鐵鎖は、それが唯新しく取換ゐられたと云ふに過ぎない。僕等は最早、そんなことはして居られない。

×

然し彼等の鬪ひの第一歩は、まづ各自の身体から、總ての權威を振放すことから始めなければならぬ。僕等はマルクスの幽靈やクロポトキンの幽靈や其他多くの社會革命家の幽靈を振放す必要がある。ボルセビキの幽靈などは眞先に振放すことが肝要だ。

我は常に我自らであれ！。完全な個人主義者こそ、完全なアナーキストなのだから、アナーキズムを人生の金科玉條のやうに思つてゐる輩にすら僕は些か癪に障る位だ。況んやレニンやトロツキイを人類の救濟主のやうに思つてゐる限り、僕等の周圍からは奴隸根性は拔けない。奴隸根性が拔けない限り資本家根性も人類の間から消ゐることはない。プルードンは『財産とは何ぞや、財産とは掠奪なり』と云つたが、そんなことは女々しい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

泣言だ。世に資本家を造り、パンの掠奪者を造つた者は、自我を持たない人間達の御蔭だ。自らその胸に偶像を祭り、自らその腕に鐵鎖を纏ひつけた奴隷根性の者どもの御蔭だ。十九世紀初頭の世界の人々は恁うして資本家と云ふ鐵鎖を製造した廿世紀の我國の現在は、マルクスと云ふ鎖、クロポトキンと云ふ鎖、更らにレニンやトロツキイと云ふ鎖さへせつせと製造してゐる。そして自らその奴隷となるのを知らないでゐる。僕のこの語に憤慨する人は EVotution は或は實行し得ても Revoution は到底實行し得られない人達だ。況んやアナーキズムの本質に觸れることは夢にも不可能だ。ALL tkingsarE notking to me 根本の思想はこれだ。この思想を實行するのがアナーキストの任務だ。この性格的一致に依つて結び着いたのこそ、眞實の團結だ。この團体生活から生れ出たものが、アナーキスト、ムウブメントだ。それは思想と生活とが分裂したものでもなければ、また思想があつて、其後で生活が生れ出たものでもない。思想的生活、否各自の生活そのものより他に何もないのだ。次號にこの生活に就て少し僕の考へてゐることを書いてみたい。

チエホフの『農人』から（三）

金子洋文

▽

『村で起る事柄は凡て彼女（オルガ）を惱ました、凡てが彼女を苦しめた、彼等はイリヤ日にも酒を飲んだ、聖母昇天祭の日にも、聖麪奉載日にも酒を飲んだ、聖母加護祭の時には、ジユーコウオ村の敎區祭があつた、そして農夫達は三日間酒を飲みつゞけた。彼等は醉ひどれるために共同積立金の中から五十留を費した、それから又火酒を買ふために家毎に金を集めて歩いた、この祭の最初の日、チキルヂエーフは羊を一匹殺して、朝飯にも晝飯にも晩飯にもそれを食べた、キリヤークは三日間飲み通うした。彼は帽子も長靴もみんな飲んでしまつて、酷くマリヤを擲つた。マリヤはその痛みを水で冷やさなければならない程であつた、この亂暴の後では、彼等は恥ぢて、鬱ぎ込んでゐ

た。』

こんな無茶な亂暴な生活は、ひとり露西亞の農民ばかりでない、日本の農民も殆どこれと同樣の無茶な亂暴な生活をしてゐるのだ。

一般の智識階級の人々及びブルジョア階級の人々は、この生活を指して彼を排斥する、憎惡する唯一の辯証とする、だがそれは人間の本質を洞察し得ない、彼等の無智をさらけ出してゐるに過ぎない。

農民の多くは勿論無智だ。だが。——

(地主の人々よ、君等はそれを憎惡する前に先づ神に感謝し給へ、若しも彼等が無智でなかつたら、君等はとうに彼等に追出されてゐたに違ひない)

吾々は彼等の無智を責める前に、境遇に支配さるゝ人間の弱さを知らなければならない、特別な人間を除いて、人間は動植物と同樣に、境遇の爲めに左右される自然性を供へてゐるのだ、どんなに道德的な婦人でも、彼等は貧困に追立てられると、結局は貞操を賣る樣になるのは自然だ、貞操を賣らずにすむ女は、まだ〱貧乏のどん底を知らないのだ、多くの人々は藝者や淫賣婦を劣等な人間のやうに罵る、だが、これ程愚かな議論はない、現に一般の女だつて、金力と權力と名望に貞操を賣物にしてゐるではないか、若しも、今日の資本家階級が滅亡する日が來たなら、その時こそ初めて藝者も淫賣婦もその他の婦人も、完全に、貞操の自由を握る事が出來るであらう、(貞操の自由)この言葉は、自分が信じてゐる理想社會の神聖な不文律の一つだ、貞操の自由があつてこそ婦人の生命は伸びるがまゝに伸びる事が出來るのだ。

▽

自分は敢て言ふ、かつて他人の物品を盜んだことのない人間、自分はさういふ人を心から羨望に堪ねない、何故か、自分は貧乏のために屢々他人の物品を盜んだ經驗があるからだ、今、自分はそれをこゝで辯明せうとは思はない、だが、人は貧乏のどん底に叩き込まれると、どんな惡事でも平氣にする樣になるものである、自分はかつて盜みをした事のない人間を羨望すると同時に、さうし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た境遇に支配されない人間の前に、罵られることを望むものだ。

だが、人々よ、農民を罵る前に、弱い人間性に眼をそゝいで欲しい、彼等は無一物だ、彼等には美しい女もなければ觀劇もない、生を享樂す可き何ものもないのだ、そして彼等はいつでも、鹽そのもの、様な鮭を、無上の美味と思つてゐる位の粗食以上の惡食をしてゐるのだ、こんなみぢめな生活、而かも烈しい勞働と貧乏に虐げられてゐる彼等が、屢々ガムシャラに腹一杯飲んだり、食つたりするのは全く不得止ないのだ、それはブルジョア階級の持つてゐる所有慾の爲めでないのだ、人間本然の要求なのだ（友人の言葉をかりると性理的にも）吾々は彼等を叱責する前に、さうした境遇におかれてある彼等を氣の毒に思はなければならないのだ。

人間は皆同じなのだ、それが甲が無智であつたり、乙が悧好であつたり、丙が上品であつたり、丁が下品であつたりするのは、皆境遇の相違がさうせしめるのだ。人々よ、ダウウキンの進化論は決して吾々に生存競爭のみを敎へてはゐない、彼の理論の底を流れてゐる、人間性に眼をむけるとい、、そこに境遇に依つて變化して行く人間の種々相が、歴然と表現されてゐるではないか。

飮め農民よ。

狂へ勞働者よ。

だが、君等は何よりも先づ理性に眼覺めなければならない。

▽

ニコライはどう〳〵死んでしまつた。彼には醫者にかゝる金がなかつた、だから彼は手を拱いて自分の死を待たなければならなかつたのだ。

妻のオルガと娘のサアシャは心ゆくまで泣いた彼女等はたつた一人の保護者を神の世界に連れて行かれたのだ、そして彼女等には何が殘つたらう、ひどい貧乏と涙だけであつた。彼等はこの村を去らなければならなかつた、人の戸口に乞食をして、悲しい順禮の歌をうたひ乍ら……

自分はこれ以上この論文を書きたくない、悲しい氣持、罵りたい氣持、何かを叩きつけたい憤りの

氣持、それらは今文字に表はすことは出來ない、自分は語ることをやめよう、そして哀れなオルガがこの村に殘した深い言葉をかりて、自分もこの論文に別れを告げよう。

左樣なら貧乏！

『オルガは會堂の方へ向つて最後のお祈りを捧げた、そして死んだ夫のことを思ひ出した彼女は泣き出しはしなかつた、が、彼女の顰めた頭が年とつた女のやうに醜く見えた、冬の間に彼女は瘦せて、醜くなつて、頭髮は少し灰色になつてゐた、愛想の好い、嬉しさうな微笑を浮べた昔の面影はなくなつて、長い間の屈辱と悲哀とに曇つた陰欝な色が面に現はれてゐた、そしてその眼の中には人が何か言つても耳にはいらない樣な、何となく生氣のない、無感覺な容子があつた、彼女はこの村と農夫達とに別れて行くのが悲しかつた、皆がどんな風にニコライの葬式をしてくれたか、近所の家々ではどんなに追悼をしてくれたか、とそんな事を彼女は思ひ浮べた、夏と冬とには獸よりも淺間しい生活をしてゐる人々と一緒に住むことを思ふと、彼女は又恐しくもあつた、彼等は粗暴に不正直で、淫蕩で、醉ひどれてある、彼等は親密に暮さうとしないで、お互に恐れ合ひ、疑ぐり合つて、絶えず喧嘩をしてゐる、一体居酒屋を拵へて、人々に酒を飲ましたのは誰だらう、それは百姓自身なのだ、學校や會堂や組合の金を酒のために費やすのは誰だらう、それも百姓達自身なのだ近所の物を盜んだり、家を燒いたり、一杯の酒に目が眩んで法廷で僞つた証言をするものは誰だらう、やつぱり百姓なのださうだ彼等と暮すのは本當に恐しい、がこんなことがあるにしても、彼等も矢張り人間である、人間として悲しみ、人間として泣いてゐるのだ、そしてその全生涯には心を和らげるやうな事が一つもないのだ、夜になると身体中が痛み出すやうな堪へ難い勞働、酷烈な冬、寂しい收穫、多すぎる家族――何處にも救ひはない、何處にも救ひを求めやうといふ希望もない、富裕な者も、強い者も彼等を救はうとしない、下級の官吏や書記やは百姓達を浮浪人のやうに取扱ひ、村長や教會の事務員まが百姓達を目下に見で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「貴様」など〻呼んでゐる、そして自分達にはそれだけの權利があると思つてゐる、そして事實、たゞ百姓達を侮辱すること〻、威嚇すること〻、掠奪する事とのためにのみ村を歩き廻つてゐる、さうした横着な、放埒な、貪慾な、懶惰な人間から、どうして救助や好模範が得られよう、オルガは此冬キリヤークが呼び出されて笞刑に處せられた時、祖父がどんなに哀れな、腹立しい顏付をしたかを思ひ出した。そして彼女はこれ等の人々を悲しく憐れに思つて、家々を振り返り〳〵歩いて行つた。

正午頃オルガとサアシャは或る大きな村に着いた、オルガはその邊の他の家よりも新らしい、富裕らしい家の傍に立ち停つて、開け放された窓の前で低く默頭をした、そして高い、細い、歌ふやうな聲で言つた。

『お慈悲深いクリスチャンの方々、どうぞキリスト樣のためにお惠み下さいまし、あなた方のために神樣の祝福をお祈りいたします、あなた方の御兩親樣が、平和な天國にお眠りなさいますやうに』

『御慈悲深いクリスチャンの方々』とサアシャもあとについて歌ひ出した『キリスト樣のために、お惠み下さいまし、天國の神樣の祝福を……』

左樣なら不幸な人々よ。　（二一、二、二六）

人生のどん底は息を引き取る

若松不知火

なんのことだ――はは〻
街路にや自由な生きもの黒い土が流れてらア
偶然の溶解が犬に蹴躓づいたんで
俺に水をぶつ掛けたとて犬の悲鳴の慰撫にはなるまいがナ
俺ア犬に氣の毒なそれ程人間を憎んだつけ
旦那どうぞ一文―うまいぞね
でも現實の形体から俺は犬にはなれねい
生れた偶然が人間となり俺となつたにや魂消げたぞね、が自ら生れねいものあ生命と言はれめいが

俺のやくざ、呪咀、怨恨、疲勞は確か俺ばかりの所有ぢあないげな

成る程な、俺は共通の生命に祈りを捧げにや
ならねいわけだ
うむ、人類ごもに受け付けられぬ愛を持つて
一生放浪するんだな
た丶丶、畜生共、吠わうれる資格が何處にある
ーが俺アうれしいんだぞ
た丶、畜生共、人間の力は眞理を押し隱して
るんだ怖ろしいことだ
都會よ、俺はこの襤褸と手足のほか眞理を隱
す何もの丶力もねいからよ
眞理は流れる、嬉ばしいのだ此處の土は暖け
いや
眞理は流れる、まだ貧乏に見放されぬ人に榮
あれ
眞理は流れる、だがよあの宇宙の救濟が暖い
汗と眠を運んでくる少し前だ
眞理は流れる、ごれううむ。
眞理は流れる、虛無の下の血緣、制度、法律、
　道德、宗教、階級、安寧、秩序………。
眞理は流れる、生命流轉、宇宙內在目的の怒
號だ、死よ理知よ神よ天地と共に幻滅しをれよ
眞理は流れる、其の瞬間(とき)だ、起きてゐろ總べて
に浸潤して不安は共通だ、起きてゐろ、眞理は
流れる
（一九二一、一、一五夜作）

編輯後記

▼第二號は豫定通り出す事が出來たので非常に安心しました、部數も增したので今度は希望者に失望させる樣なことはないこと丶思つてゐます。

▼第四號は詩集號としてしやれたものを出します、詩は同人の外にかつて日本に紹介されなかつたリーブクニヒト、ルネ・アルコス、マルセル・マルチネ、ジ・ベ・ジユブや支那の新進詩人等を紹介します、その點で日本的にほこつてい丶詩集となろと思ひます。

▼パンプレツトは第一にゴルキイの「昨日と今日」を出すことにしました、此號と同時に出ることゝ思ひます、表紙のゴールキーの寫眞は革命後のもので、日本では珍らしいゝ寫眞です、版屋がうまくとつてくればいゝと心配してゐます、その外第六號は「敎員日記號」第八號は「農人日記號」として活躍する意です、我々の仕事はこれからです、何卒樂しみに見てゐて下さい。

▼同人は每月壹圓、會員は每月貳拾錢、會員五名以上あるところには支部を置きたいと思つてゐます、そして本社と聯絡をとつて每月一回宛集會する樣にし、その都度本社から特別に研究書

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

5861
2144
no. 3

大正十年四月十三日印刷
大正十年四月十七日發行（毎月一回）第一卷第三冊

CAHIERS IDEALISTES DES JEUNES

種蒔く人

自分は農夫のなかの農夫だ。
自分の綱領は勞働である。
——ミレー——

第三冊

BERKELEY
LIBRARY
UNIVERSITY OF
CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を送るつもりでゐます、何卒吾々の事業を有効にする爲に一人でも二人でも會員を增す樣に努力して下さい、このことは今日最も大事なプロレタリアの任務です。

▼賣捌所を左の通り定めましたから、近い方面の人はそこへ申込んで下さい〔土崎港太陽堂書店〕〔南秋田郡一日市村畠山松次郎方〕〔秋田市石川書店、三光堂〕

▼基金として同人以外方々から寄附をうけました、非常にありがたく思つてゐます。

▼方々から力強い應援のたよりを貰ひました、あつくお禮申します。

▼同感です、現下凡ての民衆が幸福なる生活を獲得するには先づ資本主義的奴隷制度を打破し、小數者に壟斷ざてれゐる、資本も政治も智識も快樂も戀愛も、凡て民衆に解放せねばなりません。〔能代、淺野吉十郎〕

▼荒涼たる廣野に鍬をさる我等を正しき途に導いて下さい〔仙北、岩谷生〕

▼耕さんさする者に種を與へて下さい〔小坂、小笠原生〕

大正十年四月十三日印刷
大正十年四月十七日發行　（第一巻第三册）

東京市赤坂區青山北町一丁目八番地
編輯兼發行人　近江谷駉

秋田縣南秋田郡土崎港清水町八九
印刷人　寺内林治

秋田縣南秋田郡土崎港清水町八九
印刷所　寺林印刷所

東京市赤坂區青山北町一丁目八番地
發行所　種蒔き社

（定價二十錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA